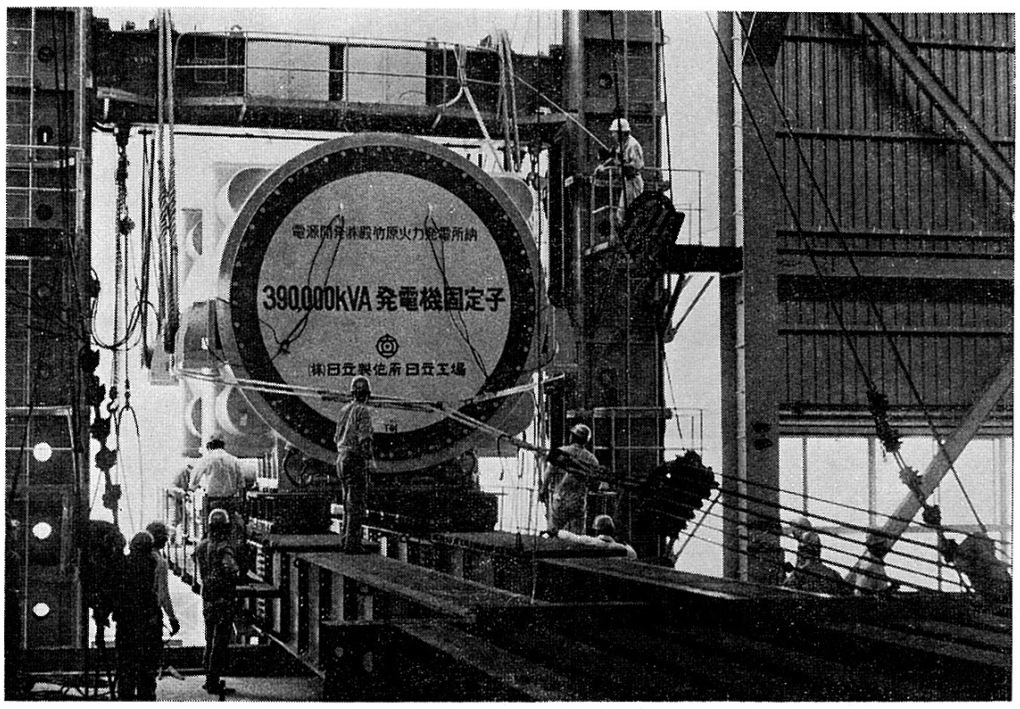
社是
誠実な施工
技能の開発向上
安全作業の確立
原価の低減
協同による社業の繁栄

NPCニュース

昭和48年9月（第95号）
発行者 西日本プラント工業株式会社
総務部 木下満恵
福岡市中央区薬院1丁目13番8号
電話代表（73）4321
印刷 有限会社 今井印刷所

「竹原」8月31日ステーター揚る

ジャッキアップ方式が採用



地上15メートルまで吊揚げられたステーターは、コロを利用してロータリーベース上に移動される

〔竹原＝8月31日〕広島県竹原市忠ノ海町に進められている電源開発株式会社竹原火力発電所第2期（出力35万kw）建設工事は、タービン本体の本格的な据付もはじまり、さる8月31日ステーター吊揚げを行なった。

当社として初めての電発火力発電所の建設となった同工事は、日立プラント建設株式会社から受注したボイラとタービン本体、発電機の据付で、今年1月15日建設所を開設して工事に取組んでいる。

8月31日吊揚げが行われたステーターは自重250トンにものぼり、この吊揚げのために、当社としては初めての試みのジャッキアップ方式が採用され、約5時間の作業ののち、ステーターは無事タービン室に収まった。

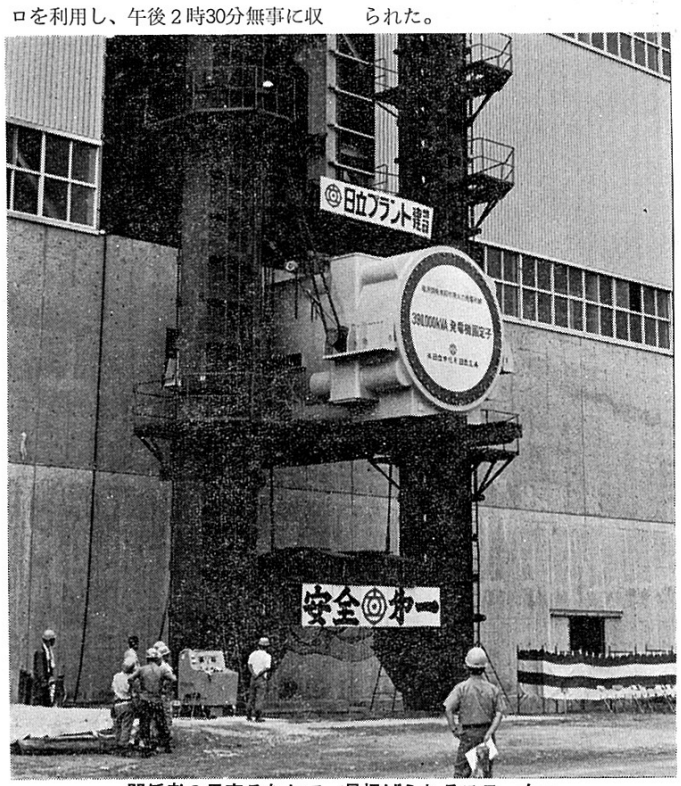
現在、タービン関係では外部ケーシングのワイヤリング作業と主塞止弁の取付けを行なっている。

一致団結で省力化はかる

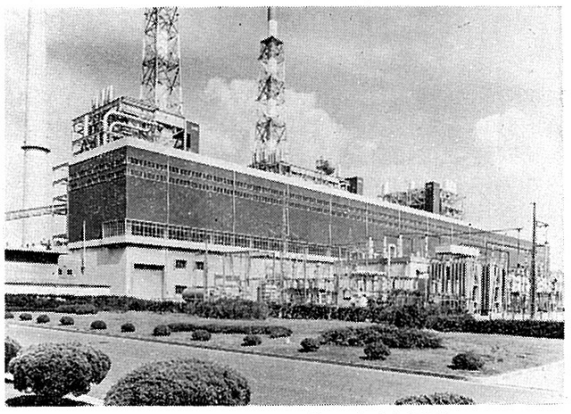
このステーター吊揚げ準備には、8月17日の門型揚重機のベース設定から着手し、8月27日にその据付を終えて、ポールアップ前日8月30日には、ステーターを地上3メートルで固定した。

8月31日ポールアップ当日、御祓の神事のあと、当社では初めての工法であるジャッキアップ方式で、9時30分から約2時間、ステーターを地上約15メートルまで吊揚げた。つづいて、タービン室3階の発電機台座に据付けられているロータリーベース上に搬入するため、横引きにコロを利用し、午後2時30分無事に収まり、すべての作業を完了した。

これらの作業は、川部所長代理、坂口主任以下当社従業員9名、そして協力業者2名のこれまでにない少人数で、しかも専門業種外の作業員もいたが、仕事に取組む積極性と一致団結による相互協力で、重機材を適所に駆使して大巾な省力化がはかられた。



関係者の見守るなかで、吊揚げられるステーター



竣工式を迎え、フル運転の唐津発電所

＜唐津2号機・3号機＞

9月12日 竣工式行なわれる

〔唐津＝9月12日〕九州電力株式会社唐津火力発電所2号機および3号機の竣工を祝して、9月12日同発電所で神事が行なわれた。

同発電所は、2号機（出力37万5,000kw）が46年7月2日営業運転に入り、ひきつづいて建設されていた3号機（50万kw）も今年6月30日運転を開始したことによって1号機の15万6,000kwと合わせて、九州では初めての100万kw電源供給基地となった。

当社は、2・3号機とも据付工事を受注し、唐津建設所を設置して桃島所長以下建設に取組んできた。2号機は、45年2月28日のボイラドラム揚げから本格的な主要機器据付工事に着手、46年7月から営業運転に入っていた。また2号機に隣接して建設されていた3号機も、46年11月15日にヘッダー揚げ、47年11月11日火入れ、48年2月1日初併列と順調な進捗を見せ、今年6月から営業運転が行なわれている。

竣工式は午前11時から行なわれ、九州電力から瓦林社長をはじめ吉田常務、吉田火力部長らが出席、2・3号機の主要機器据付工事を担当した当社からは、菅原社長、桃島所長が出席した。

神事のあと、九電瓦林社長から当社菅原社長に、当社の据付工事における優秀な技術と献身的な努力に対して、感謝状が贈られた。

本店、経営幹部教育を実施

社会変化に対応するリーダーシップを

〔本店＝8月17日〕さる8月17日午前10時から、本店地下にある九電会議室で、役員ならびに管理者の特別研修会が行なわれた。

この研修は、めまぐるしく変る社会環境や、多様化する価値観などのもとで、いかにこれに対応していけば、企業の成長発展を達成しえるかを、講演を通じて幹部全員が認識をさらに深める目的で開かれた。

本店地下会議室で行なわれた経営幹部教育

そのため、講師には日本の一流企業でコンサルティングの豊富な経験を持たれている株式会社日本ビジネスコンサルタント常務の吉田輝生氏にお願いし、もっとも経営幹部に要求される「リーダーシップ」を中心に、午後5時まで続けられた。

講演の主な内容は、①パワーの行使 ②リーダーシップの2大機能 ③2つのタイプの管理者 ④組織の上下関係 ⑤リーダーシップは転移する ⑥リーダーシップを決定するもの、などで各界の一流経営者の考え方や行動力の実際などを巧みにそう入されて進められた。

なお、今回の研修会は、各所の工事状況などの都合から、本店だけを対象として行なわれたため、各所の幹部社員については、今後の工事状況を考慮して実施される予定。